

報道関係者各位

トレンド調査

—子どものための住まい探しに関する調査—

重視した条件 1 位「部屋数」、設備 1 位「モニタ付インターホン」

～初めて子ども部屋を用意する理想・実際のタイミングは小学校低学年が最多～

不動産情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区 代表取締役社長:鶴森 康史 以下、アットホーム)は、2017年1月以降、第一子が15歳になるまでの間に引越しをした、全国の22～58歳を対象に子どものための住まい探しについて調査を実施いたしました。

トピックス

■子どもとの住まい

- ・子育てのために重視した住まいの条件 1 位は「部屋数」49.3%、設備 1 位は「モニタ付インターホン」33.1%
- ・「自分」「配偶者」の実家との距離は、ともに「車／電車で1時間以内」を理想とする人が最多
- ・物件から2km以内に必ずあってほしいものは「小学校」が61.5%

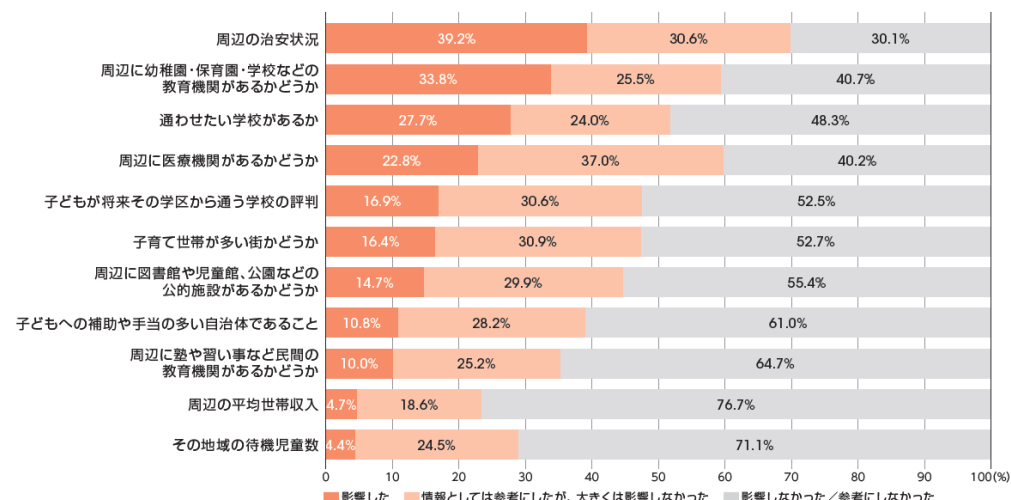
■子ども部屋の条件

- ・子ども部屋は74.0%が「あり」
- ・初めて子ども部屋を用意する理想・実際のタイミングは小学校低学年が最多
- ・子ども部屋の広さは平均6.4畳

■エリア選定の基準

- ・住まい探しに「周辺の治安状況」を参考にした人は約7割

Q 住むエリアの決定や住まい探しにおいて、下記のことは影響しましたか？



調査結果

■子育てのために重視した住まいの条件 1位は「部屋数」49.3%、設備 1位は「モニタ付インターホン」33.1%

子育てのために重視した住まいの条件を聞いたところ、約半数の 49.3%が「部屋数」と回答しました。子ども部屋や書斎、寝室などそれぞれのプライベート空間の確保が求められるようです。次いで 2 位は「立地の利便性」37.7%でした。重視した設備は 1 位が「モニタ付インターホン」33.1%でした。子どものためにセキュリティー設備を重視する人が多い傾向がみられました。次いで 2 位は「豊富な収納スペース」31.1%でした。



子育てのために重視した住まいの条件・設備を選んでください。(複数回答/上位5項目)

条件		
1位	部屋数	49.3%
2位	立地の利便性	37.7%
3位	日当たり	34.8%
4位	新築・築浅	28.4%
5位	広いリビング	25.5%

※「特になし」は12.0%

設備		
1位	モニタ付インターホン	33.1%
2位	豊富な収納スペース	31.1%
3位	駐車場	29.9%
4位	追焚き機能	21.3%
5位	カウンターキッチン	20.8%

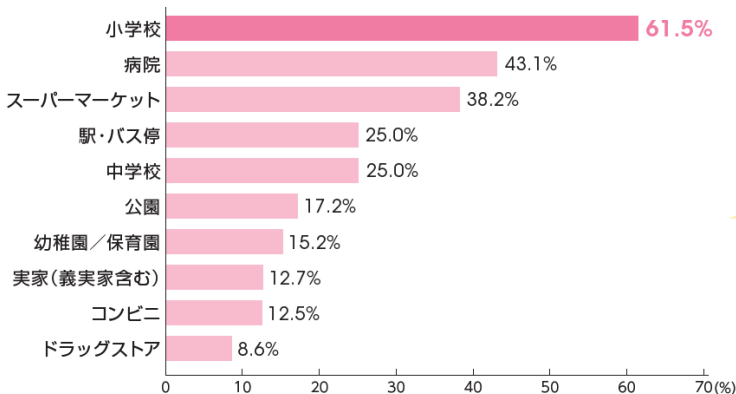
※「特になし」は25.5%

■物件から 2km 以内に必ずあってほしいものは「小学校」が 61.5%

物件から 2km 以内に必ずあってほしいものとしては「小学校」が 61.5%、次いで「病院」43.1%、「スーパーマーケット」38.2%となりました。「小学校」は「6年間通うため近い方が安心だから」、「病院」は「子どもは突然けがをしたり、熱を出したりするから」という理由があがりました。また、特に「病院」「スーパーマーケット」「公園」は未就学児がいる人ほどニーズが高い傾向にありました。



子育てをする上で、物件から2km以内に必ずあってほしいものを選んでください。引越し当時のお子さまの年齢でお考えください。また、選択した理由も教えてください。(上位3つを複数回答/上位10項目)



小学校

- ・6年間通うため、近い方が安心だから。
- ・何かあってもすぐに迎えに行けるから。
- ・身体が小さいうちは重いランドセルを背負っての登下校が大変だから。

病院

- ・子どもは突然けがをしたり、熱を出したりするから。
- ・予防接種などで病院に行く機会が多いから。

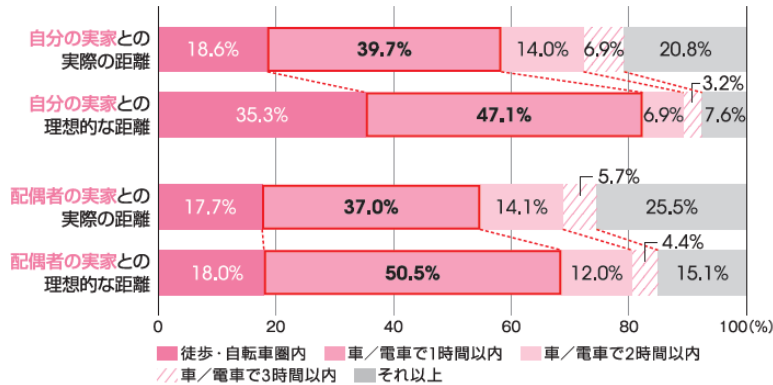
スーパーマーケット

- ・子連れで遠くへ行くのは大変だから。
- ・おつかいに行ってもらいやすいから。
- ・毎日のように行く場所だから。

■「自分」「配偶者」の実家との距離は、ともに「車／電車で1時間以内」を理想とする人が最多

「自分」「配偶者」の実家との距離は、ともに「車／電車で1時間以内」を理想とする人が最多で、実際の距離よりも理想的な距離の方が近い傾向にありました。また、「自分の実家との理想的な距離」については、35.3%が「徒歩・自転車圏内」と回答しており、配偶者の実家よりもより近い距離が求められるようです。

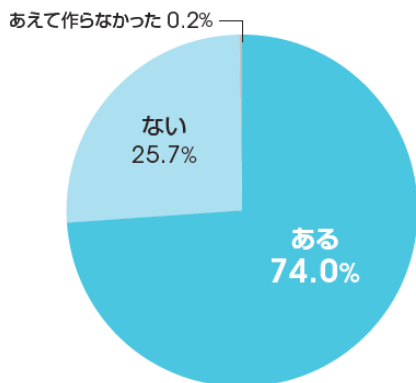
Q <自分／配偶者>の実家との<実際の／理想的な>距離はどのくらいですか？経路が複数ある場合は最短時間でお答えください。(配偶者の実家については既婚と回答した384名)



■子ども部屋は74.0%が「あり」

子ども部屋は74.0%が「あり」と回答しました。子ども部屋のこだわりについては「鍵はつけないようにした」や「大きくなったら部屋を二つに分けられる間取りにした」などさまざまな意見がみられました。

Q 子ども部屋はありますか？



聞いてみました

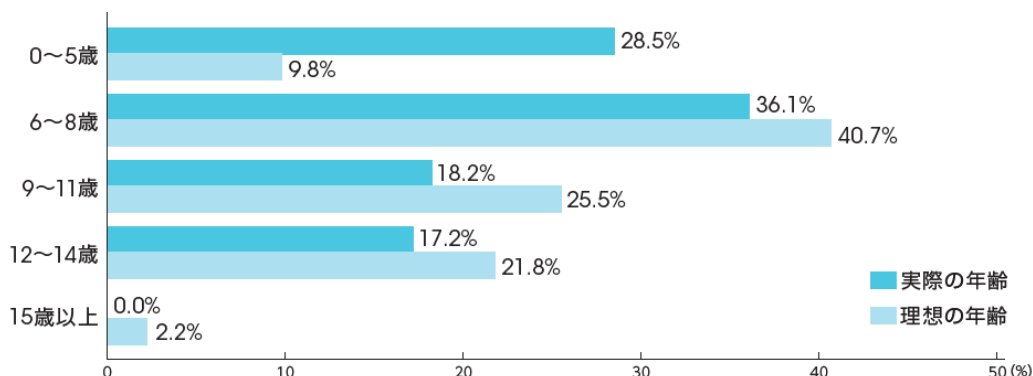
子ども部屋のこだわり

- ・鍵はつけないようにした。
- ・後からタンスなどを置いて狭くならないように最初から収納を大きく作った。
- ・コンセントを机の高さに作った。
- ・子ども部屋は寝だけの部屋として利用し、勉強はリビングでするような狭さにした。
- ・リビングを経由しないと子ども部屋に行けないようにした。
- ・子どもが好きな柄の壁紙を採用し、幸せな気持ちで一人の時間を過ごせるようにした。
- ・天井の壁紙を、プラネタリウム風にして遊び心をもたせた。
- ・大きくなったら部屋を二つに分けられる間取りにした。
- ・窓の位置を工夫して着替えている姿が見えないようにした。

■初めて子ども部屋を用意する理想・実際のタイミングはともに小学校低学年が最多

実際に子ども部屋を用意した年齢については、「6～8歳」が36.1%で最も多い結果となりました。さらに、理想の年齢についても同様に「6～8歳」が40.7%と最も多く、小学校低学年ごろが適切と考える人が多いようです。

Q 子どもが何歳の時に初めて子ども部屋を用意しましたか？第一子の年齢でお答えください。(自由回答／子ども部屋があると回答した302名)
子ども部屋を用意するのに理想の子どもの年齢はいつですか？(自由回答)

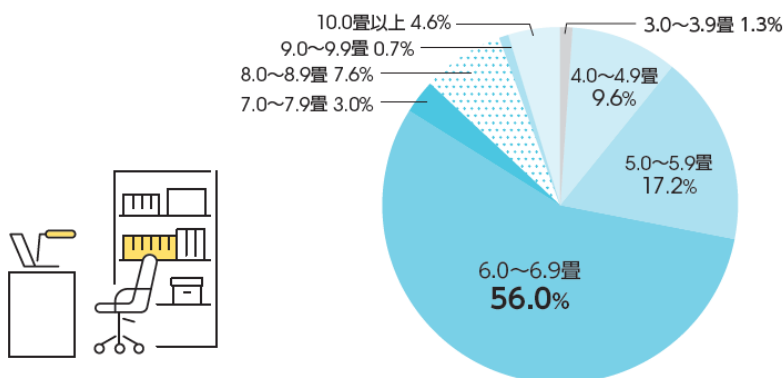


■子ども部屋の広さは平均 6.4 畳

子ども部屋の広さについては平均 6.4 畳で、8 割以上が 7 畳未満となりました。子ども部屋のこだわりで「勉強はリビングでできるようにあえて狭くした」という回答にもあったように、必ずしも広さを追求しないケースがあるようです。



子ども部屋の広さはどのくらいですか？複数ある場合は平均値でお答えください。
(小数点第一位まで自由回答／子ども部屋があると回答した302名)



平均：6.4畳

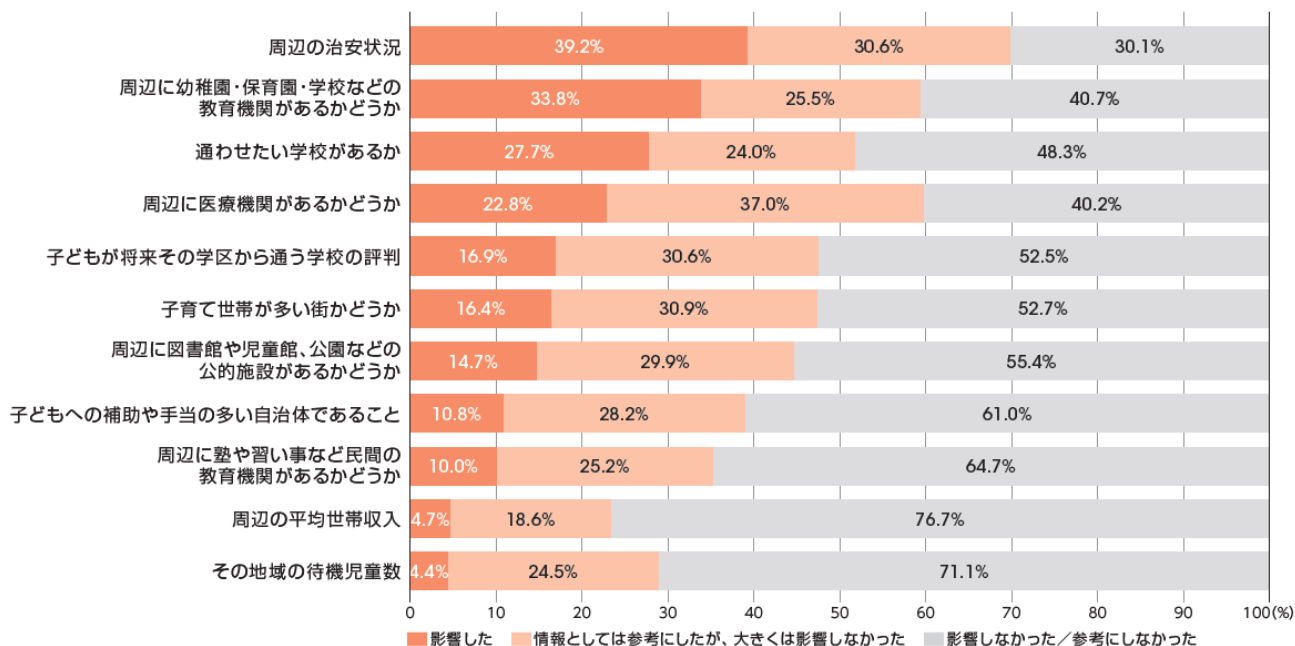


■住まい探しに「周辺の治安状況」を参考にした人は約 7 割

住まい探しにおいて「周辺の治安状況」が影響すると回答した人は 39.2%で、特に小さい子どもがいる人ほど影響する傾向がありました。次いで「周辺に幼稚園・保育園・学校などの教育機関があるかどうか」「通わせたい学校があるか」など教育に関する項目が上位となりました。



住むエリアの決定や住まい探しにおいて、下記のことは影響しましたか？



調査概要

■調査対象／2017年1月以降、第一子が15歳になるまでの間に引越しをした、全国の22～58歳の男女408人



男性151名

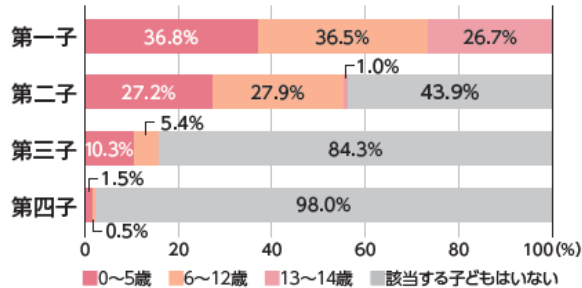


女性257名

全体408名

引越し当時の子どもの年齢

※5人以上子どもがいる場合は4人目までについて回答



■調査方法／インターネットによるアンケート調査

■調査期間／2022年8月9日(火)～8月12日(金)

※小数第2位を四捨五入しているため、合計100%にならない場合があります。

<調査結果について>

アットホームでは本調査をはじめ、賃貸物件に住む人や一戸建て・マンションを購入した人などに住まいに関する調査を定期的に行っています。その他に「不動産取引における書類のオンライン化・電子サインに関する実態調査」や「住まい探しで見落としがちな物件情報ランキング」など不動産業界のトレンドに合わせた調査も実施しています。過去の調査結果など詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

<調査に関するお問合せ>

アットホーム株式会社 広報・調査担当 佐々木・西嶋・清水

TEL:03-3580-7504 / E-mail:contact@athome.co.jp

会社概要

- 会社名 : アットホーム株式会社
- 創業 : 1967年12月
- 資本金 : 1億円
- 年商 : 299億2300万円(2021年6月～2022年5月)
- 従業員数 : 1,644名(2022年10月末現在)
- 代表者名 : 代表取締役社長 鶴森 康史
- 本社所在地 : 東京都大田区西六郷 4-34-12
- 事業内容 : ●不動産会社間情報流通サービス
 - ・ファクトシート・リスティング・サービス(図面配布サービス)
 - ・ATBB(不動産業務総合支援サイト)
 - ・官公庁等の物件情報提供サービス●消費者向け不動産情報サービス
 - ・「不動産情報サイト アットホーム」
 - ・「お部屋探しアプリ アットホームであった!」など●不動産業務支援サービス
 - ・「ホームページ作成ツール」など、ホームページ運営支援
 - ・「不動産データプロ」「地盤情報レポート」など、不動産調査支援
 - ・「VR内見・パノラマ」「おすすめコメント」など、集客支援
 - ・「賃貸管理システム」「スマート申込」「スマート物確」など、業務支援
 - ・「アットホームスタディ」など、資格・知識習得支援
 - ・集客、店舗・物件プロモーションツールなど、不動産業務用ツール
- 加盟・利用不動産店数 : 61,587店(2022年11月1日現在)
- 会社案内 : <https://athome-inc.jp/>

【本件に関するお問合せ先】

アットホーム株式会社 PR事務局 ビルコム株式会社 担当: 田中
TEL: 03-5413-2411 E-mail: athome@bil.jp

アットホーム株式会社 マーケティングコミュニケーション部 広報担当: 佐々木・西嶋・清水
TEL: 03-3580-7504 E-mail: contact@athome.co.jp